

令和3年度 低学年授業改善プラン

	児童の課題	改善策
国語 1年	<ul style="list-style-type: none"> 声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。 伝えたい事柄を明確にしたり、順序を考えたりして、話したり書いたりすること。 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 場に適した言葉遣いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアからグループ、学級全体へと、話す相手を変えて発表する。聞き手に届く適切な音量や速さが身に付くように、スピーチをしたり、発表したりする機会を多くもつ。(但し、ソーシャルディスタンスの確保や飛沫拡散防止に留意する。) 簡単な構成を考えるために、行動したことや経験したことを思い出し、メモにして並び替えなどをする。また、考えた文は、繰り返し読む時間を十分にとる。 いろいろな種類の本の読み聞かせを行い、読書の楽しさを実感させる。また、図書館の時間を始め、十分な読書の時間を設ける。 日々の学校生活の中で児童が意識していけるように、場に応じて指導を行う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 大事なことを落とさないように集中して聞くこと。 相手に伝わるように、自分の行動や経験に基づいて、話す事柄の順序を考えながら話すこと。 文と文のつながりに注意しながら内容のまとまりが分かるように、書き表し方を工夫すること。 正しい文字や整った文字を書くことを定着させること。 読書習慣を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手を見ながら集中して聞くことを継続的に指導する。また、順を追ってメモをとることを繰り返し行い、大事なことを落とさないように聞く経験を増やす。 伝えたいことを話す際には、内容が相手に伝わるように組み立てメモや話型を活用して、事柄の順序を整理して話すように指導する。 読む速さや姿勢に注意してはっきりした発音で話すことができるように継続的に指導する。また、感染症対策として、声の大きさは、大きくなりすぎないように指導する。 句読点の使い方、助詞の使い方、「」(かぎかっこ)の使い方など、文章表現をする上での基本を丁寧に指導する。また、普段より原稿用紙を使って書いたり、日記の宿題を出したりすることで、定着を図る。 「はじめ・中・おわり」の文章構成を、教科書の文章から学び、作文などの表現活動を通して定着させていく。 書いた文章を読み返す習慣を付けたり、友達と読み合う時間を確保したりして、文と文のつながりやまとまりを意識させる。 小テストや漢字ドリルを活用して、正しい漢字の書き方を定着させる。 図書館の時間を充実させて、様々なジャンルの本に親しむようにする。 感染症対策として、図書室や教室の本の利用前後は、手洗いを徹底させる。
算数 1年	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識・技能が定着すること。(たし算、ひき算) 何時、何時半などの時刻の読み方や表し方を理解すること。 数学的活動の楽しさに気付くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> たし算とひき算の計算について、計算カードやスキル、宿題プリントなどを用いて、繰り返し練習に取り組む時間を設定する。 児童の実態に合わせて、指を使ったりブロックを使ったりして正確に計算できるように指導する。また、丸などの簡単な図(アレイ図)で表すことでたし算やひき算の場面を把握できるようにする。 学習の時間だけでなく、学校生活の場面でも「長い針が5まで」という指示から「25分まで」のように変え、時刻や時間の読み方を意識して生活できるようにする。 演算決定の理由や解き方を、ブロックやおはじきなどの具体物を用いて説明できるように、操作する時間を十分に確保する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本となるたし算・ひき算の筆算や九九がしっかりと身に付くこと。 数量や図形の学習の内容について、理解できるようにするとともに量感をもつこと。 時刻と時間の概念を理解し、日常生活に用いること。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのある加法・繰り下がりのある減法や乗法九九の計算の仕方をドリルやプリント、計算カードを用いて反復練習を行うことで、定着を図る。たしかめプリントに取り組ませ、その結果により補習を行い、知識及び技能を身に付けさせる。 具体物を使って数学的活動を通して理解を確実にしていく。mm、cm、m、mL、dL、Lなどの単位の相互関係をきちんと理解できるようにする。 時計の文字盤などを使い、具体的な目盛りを数える活動を通して時刻や時間を求められるようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもち、表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演算決定の理由や解き方を考えさせ、絵や図を描いて、既習事項をもとに児童自身が自分の考えをもてるようにする。友達の考えを聞き、相互評価することで、自分の考えを説明する仕方を身につけさせる。
生活 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々に関心をもち、ふれあう経験を増やし、楽しく安心して遊びや生活ができること。 ・身近な自然に触れ、遊ぶことで、季節の変化に気付き、自然を利用した楽しい遊びを工夫することができること。 ・昆虫を飼ったり、植物を育てたりして、生き物への親しみをもち、大切にすることができること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検を通して、人との関わりを増やす。自分たちの生活を支えてくれている人の存在に気付くようにし、安心して学校生活を送れるようにする。保育園児との交流では、コロナ対応で園児との交流はできないため、互いの生活の様子や出来事などを伝え合う手紙などを書いたり、質問を受けたりするなどして交流をしていく。 ・裏庭探検に出かけるなどして、昆虫や草花などの自然と触れ合う機会を多くとる。節句や伝統行事、伝承遊びなどを通して季節の移り変わりを体験する機会を設定する。 ・一人でダンゴ虫を飼ったりアサガオを育てたりすることにより、昆虫や植物の成長の変化や様子に関心をもち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付き、大切にすることを育てる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を栽培したり昆虫を飼ったりする活動を通して、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、生き物への親しみをもち、大切にすること。 ・公共施設を利用したり、地域で働いている人々に対して関心をもったりして、考えたことを伝え合う活動を通して、自分たちの住む町に親しみや愛着をもつこと。 ・動くおもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、工夫することの面白さや自然の不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培や飼育への意欲を高めるために、野菜や昆虫といった学習対象を、図鑑等を使って調べ、自ら選択する場面を設定する。 ・友達に伝えたいという思いを実現したり、考えを聞き合って新しいことに気付いたりするために、変化や成長を伝え合う時間を設ける。 ・地域を身近なものにするために、同じ場所に繰り返し訪れる単元構成にする。 ・地域の場所や人に対して、児童がどのように関心をもっているのかを把握して、指導計画を立てる。 ・安全に気を付けたりマナーを守ったりして地域の場所や人と接することができるように、良い姿を広めたり、声を掛けたりする。 ・気付いたことを基に考えることができるように、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの活動の充実を図る。また、活動の場や発表の仕方など、適度な距離を保って活動できる環境について話し合う。 ・遊びを発展させる中で気付きの質を高め、遊びを創り出すことができるようにするために、コーナーを分けたり、グルーピングを変えたりするなどの環境構成を工夫する。
音楽 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の雰囲気を感じ取って表現すること。 ・鍵盤ハーモニカに親しみ、リズムに合わせて演奏すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍の流れに乗って表現の仕方を工夫する学習に重点を置いた指導を進める。①身体表現②言葉や手拍子を組み合わせたりリズム遊びなどを取り入れ、表現を広げるための技能を身に付ける。 ・簡単な打楽器に親しませ、リズムに合わせて合奏できるようにする。 ・音の高低を感じ取りながら揃って歌ったり演奏したりできるように取り組む。 ・鍵盤ハーモニカの音色に関心をもたせ、タンギングなどの基本的な奏法を身につけるようにさせる。また、副教材の楽曲では、一人ひとり検定を行い、繰り返し練習する機会をもつ。感染予防の点で、個別のビニールを机に掛け、演奏している。 ・音楽科学習発表会に向けて、鍵盤ハーモニカや打楽器に触れる機会を多く設ける。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の気分を感じ取り、自分の思いに合った表現をすること。 ・身近な楽器に親しみ、思いに合った演奏をすること。及びそのための技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音の高低を感じ取りながら歌ったり演奏したりできるように、身体表現を使うなどしながら階名の模唱や暗唱に取り組む。また、声の大きさに気を付けたり、適度な距離を保って身体表現をするなど、感染対策をとりながら活動を行う。 ・拍のまとまりや拍子の違いを感じ取るために、音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり、友達の演奏を聴いたりする。 ・鍵盤ハーモニカの基礎的な奏法を段階的に指導する。異なる曲想の曲の演奏に取り組む、音色などの違いを楽しみ、音色に気を付けて演奏できるようにする。飛沫防止対策をとった場で、演奏を行う。 ・リズム譜を見て歌ったりリズムを手で打ったりする活動を通して、拍の流れにのってリズムよく演奏することに慣れ親しむことができるようにする。 ・打楽器の音色の違いを楽しむことができるように、様々な楽器を体験する

		機会を設ける。
図工 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具を使い自分の表したいことを工夫して創造的に表現するようにすること ・造形的な面白さや楽しさや表したいことや表し方について考え、楽しく発想したり、身の回りの作品などから、自分の見方感じ方を広げたりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを題材にして、手や体全体の感覚などを働かせて絵や立体を表現する活動を通して感じたことや想像したことから表したいことを見つけることや好きな形や色を選んだり工夫して表現したりできるようにする。 ・身の回りの作品を見合ったり感じたことを伝え合ったりすることを通して、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気づき、自分の見方感じ方を広げ、自分の作品に生かすことができるようにする。 ・友達の作品を見る時間を十分に確保し、友達の作品の面白さを感じ取り、作品を鑑賞する楽しさを味わい、形や色に関わり、楽しい生活を創造しようとする態度を養う。 ・コロナ対策として共有の道具を使う際には使用前後に手洗いを喚起する。新聞紙やお手拭きタオルなどを個人持ちにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、自分の表したいことに生かすこと。 ・身の回りの作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びをする活動の際は、材料を持ってきてもらうことに加え、学校での材料を用意する。自分の表したいことを、様々な材料で試す経験を繰り返し、作品に生かすよう指導する。 ・基礎的な用具の扱い方を繰り返し指導し、習得できるようにする。 ・コロナ対策として、人数を半分ずつに分け、鑑賞する時間を設ける。 ・友達の作品を見て回る時間を大切に、鑑賞の面白さや大切さ、貴重さを感じ、自分の作品に生かすことができるようにする。 ・コロナ対策として、共有の道具を使う際には、使用前後に手洗いを喚起する。
体育 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもって運動すること。 ・ルールを守って友達と楽しく運動すること。 ・基本的な動きを身に付けること。 ・安全に運動すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの運動に沿っためあてをいくつか例示し、児童が自分に合っためあてを選べるようにする。 ・ルールを守ることや協力して運動することで、安全に楽しく運動ができることを意識付け、進んでルールを守ったり友達と協力しようとしたりする態度を育てる。 ・さまざまな運動遊びを通じて体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けることができるようにする。 (体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動きなど) ・活動の合間に水分補給や休憩時間を取り、熱中症対策に努める。 ・ボールなどの用具においては手洗い・消毒等感染対策を十分に行ったうえで、活動内容を工夫していく。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもって運動すること。 ・いろいろな運動遊びを通して楽しさを知り、基本的な動きを身に付けること。 ・誰とでも仲良く運動できること。 ・意欲的に運動に取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使い、運動遊びにおける自分のめあてを考えたり、選んだりしながら運動し、振り返りができるようにする。 ・感染防止対策を講じてながら体のバランスをとる、体を左右、ジグザグに移動する、前方や上方に跳ぶ、ボールの操作をする、力試しの動きなどを楽しみ、様々な運動経験をさせ、基本的な動きを身につけるようにする。 ・鬼遊びやゲームでは、ペアやグループでの活動を通して作戦を工夫して考えて取り組める活動を取り入れる。(密にならないように話し合いのしかたを工夫する。) ・遊びやゲームを通して、順番やきまりを守ることや協力して仲良く勝敗を競うことの大切さを経験できるようにするため、ルールや約束を明確に示していく。また、自分達がルールを決めて進める楽しさも味わえるように、単元計画を工夫する。 ・楽しんで取り組めるようにそれぞれの運動遊びにゲーム性をもたせて、遊びながらいろいろな動きを経験できるように工夫していく。(ごっこ遊び・すごろく風)